

資料1

骨子案についての意見等及び対応状況

No.	該当箇所	事由	委員からの意見及び事務局提案	対応状況
1	全体について	委員からの意見	②妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援、③健やかで心豊かな育ちへの支援には、地域という表記があるが、そこ以外でも「地域」という部分が重要であるので、柱として入れてもいいと思う。	地域という視点は本計画全体のベースとなっており、素案の段階で具体的に記載する。
2	基本理念	委員からの意見	基本理念の「子どもの最善の利益の保障」という言葉について、保障という言葉は使い方として不適切。適当な言葉にしてほしい。条約では、考慮するとなっている。	保障の使い方を下記のとおり修正する。 【変更箇所】 「子どもの人権尊重を第一に考えた「子どもの最善の利益」の保障」 → 「子どもの最善の利益」を第一に考えた「子どもの権利」の保障
3	基本目標 ○子どもの人権の尊重	事務局からの提案	基本理念に「子どもの権利」の保障が掲げられており、それを受けて、基本理念と同次元の「子どもの人権の尊重」が基本目標に記載されるのはよくない。なお、基本方向には具体のものとして、「子どもの権利が保障される環境づくり」が掲げられているので、それでことが足りると考える。	【変更箇所】 ○子どもの人権の尊重→削除する。
4	①子どもの権利が保障される環境づくり	委員からの意見	骨子に、子どもの権利条例という言葉が出てきていない。	施策体系に言葉そのものは出ていないが、計画全体の根底に条例の考え方があり、素案に条例について記載している。
5	①「子どもの権利が保障される環境づくり」 「子どもの意見表明・参加の促進」	事務局からの提案	主な取組の「各種子ども活動の連携」については、意見表明の活動機会を増やしていくことが主な内のため表記を変更する。	【変更箇所】 「各種子ども活動の連携」→「子どもの活動機会の確保」
6	①「子どもの権利が保障される環境づくり」 権利侵害からの救済	事務局からの提案	主な取組の「利用しやすい権利相談体制の構築」については、「権利侵害からの救済」に包含する。	【変更箇所】 「利用しやすい権利相談体制の構築」 →削除する。
7	②妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援 「母子保健・医療体制の充実」	委員からの意見	「母子保健・医療体制の充実」の主な取組みに「妊娠・出産の希望の実現」とあるが、中身が不妊治療とかであれば、希望の実現という表記はどうか。	行政が支援する内容なので、下記のとおり修正する。 【変更箇所】 「妊娠・出産の希望の実現」 →「妊娠・出産の支援の充実」
8	②妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援 「教育・保育サービス等の充実」	委員からの意見	サービス、幼児期という用語の使い方について整理してほしい。幼児期については、0歳児から発達の連続性があり、0歳児からの教育体系があるので、乳幼児期の教育・保育とすべきではないか。	サービスという用語は馴染みにくいので削除するとともに、教育の連続性を考慮して、幼児期を乳幼児期に変更する。 【変更箇所】 「教育・保育サービス等の充実」 →「乳幼児期の教育・保育の充実」
9	③健やかで心豊かな育ちへの支援 「幼児期の教育・保育の充実」	委員からの意見	幼児期という用語の使い方について整理してほしい。幼児期については、0歳児から発達の連続性があり、0歳児からの教育体系があるので、乳幼児期の教育・保育とすべきではないか。	教育の連続性を考慮して、幼児期を乳幼児期に変更する。また、「乳幼児期の教育・保育の充実」という項目が2つとなるため、「小学校教育との連携」を追加して区別する。 【変更箇所】 「教育・保育の充実」 →「乳幼児期の教育・保育と小学校教育との連携」

No.	該当箇所	事由	委員からの意見及び事務局提案	対応状況
10	③健やかで心豊かな育ちへの支援 「乳幼児期の教育・保育の充実」	事務局からの提案	主な取組の「職員の資質の向上」について、②妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援の「教育・保育サービス等の充実」に包含される。	【変更箇所】 「職員の資質の向上」→削除する。
11	③健やかで心豊かな育ちへの支援 「次代を担う大人になるための教育」	事務局からの提案	ノーマライゼーションの理念の啓発が必要であることから、主な取組に追加する。	【変更箇所】 「ノーマライゼーションの理念の普及啓発」を追加する。
12	③健やかで心豊かな育ちへの支援 「次代を担う大人になるための教育」	委員からの意見	主権者となるための教育についても考えられるのではないかと。高校生が中心となるだろうが、高校からでは遅い。	【変更箇所】 主な取組みに「主権者教育の推進」を追加する。
13	③健やかで心豊かな育ちへの支援 「子どもの活動機会の充実」	事務局からの提案	子どもの読書活動については、学校、家庭、地域での読書活動を分散していたが、一か所にまとめるべき	【変更箇所】 「子どもの活動機会の充実」に主な取組として「子どもの読書活動の推進」を追加する。
14	③健やかで心豊かな育ちへの支援 「子どもの活動機会の充実」	事務局からの提案	主な取組の「子ども支援のネットワークづくり」について、②妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援の「地域全体で子育てを支える環境づくり」に一部包含される。	【変更箇所】 「子どもの活動機会の充実」の「子ども支援のネットワークづくり」を削除し、一部を「子どもの自主的な活動の促進」として新たに追加する。
15	④特に支援が必要な子どもや家庭への支援 「障がい児家庭などへの支援」	委員からの意見	「障がい児家庭」という言葉は、社会通念上、使われている言葉なのか。気にする人は気にする。誰にでも受け入れられる言葉にすべき。	【変更箇所】 「障がい児家庭などへの支援」 →「障がいのある子どもなどへの支援」
16	④特に支援が必要な子どもや家庭への支援 「障がい児家庭などへの支援」	委員からの意見	「障がい児家庭など」とあるが、この「など」には、DV被害者の問題、保護者のアルコールやギャンブル、薬物などの依存症、精神病などの病気があるなどということも含まれるのではないかと。 以上の点を踏まえ、社会全体で支えていかなければならない世帯、家庭というような言葉を使うとよいのではないかと。	【変更箇所】 「子どもの貧困対策の推進」 →「貧困など様々な環境にある子どもや家庭への支援」
		委員からの意見	ひきこもり、不登校も含まれるのではないかと。	
		委員からの意見	フリースクールで学ぶ子どもについても入れ込むべき。	
		委員からの意見	外国籍の子どもについても含まれるのではないかと。	